

2) 保健医学教室・公衆衛生学教室編：昭和57年度社会医学実習報告書 第3集, 1982.

3) 青島恵子, 加藤輝隆, 寺西秀豊, 加須屋 実, 近藤真理子, 小橋恭一, 萩野 昇：イタイ・イタイ病に対する 1α -OH- D_3 (α - D_3) の使用経験. 北陸骨Ca代謝談話会報告集 第3集：7-15, 1982.

4) 公衆衛生学教室編：日本産業衛生学会北陸甲信越地方会創立25周年記念誌, 1982.

5) 加須屋 実：北陸の公衆衛生に生きる. 北陸と公衆衛生 16：17, 1982.

6) 寺西秀豊：病気の根っ子. 北陸と公衆衛生 16：34, 1982.

7) 加須屋 実：イ病患者の病態, 並びに発症要因. 第2回イタイ・イタイ病セミナー講演集 6-10, 1982.

◆ 学会報告

1) 田中旨子, 青島恵子, 加須屋 実：イタイ・イタイ病患者における神通川水系利用に関する調査. 第52回日本衛生学会, 1982, 3, 東京.

2) 青島恵子, 加藤輝隆, 寺西秀豊, 加須屋 実：イタイ・イタイ病の新患例について. 第52回日本衛生学会, 1982, 3, 東京.

3) 寺西秀豊, 青島恵子, 加藤輝隆, 加須屋 実：果樹園作業の技術革新にともなう花粉アレルギーの多発. 第23回社会医学研究会, 1982, 8, 滋賀.

4) 加須屋 実, 寺西秀豊, 青島恵子, 加藤輝隆, 小橋恭一, 近藤真理子, 田中美穂, 萩野 昇：イタイ・イタイ病における活性型ビタミン D_3 1α -OH- D_3 の治療効果, 第41回日本公衆衛生学会, 1982, 10, 福岡.

5) Teranishi H., Kasuya M., Aoshima K., Kato T. and Ikarashi T. : Epidemiological study of pollenosis among pear farmers, XI International Congress of Allergology and Clinical Immunology, 1982, 10, London.

6) 加藤輝隆, 加須屋 実, 鏡森定信, 河野昭一：大気汚染地域で見られたスギ葉中のタンニン生合成阻害について. 第27回リグニン化学討論会, 1982, 10, 名古屋.

7) 加須屋 実, 寺西秀豊, 青島恵子, 加藤輝隆, 小橋恭一, 近藤真理子, 田中美穂, 萩野 昇：イタイ・イタイ病における 1α -OH- D_3 の治療効果 (第2報). 第4回北陸骨Ca代謝談話会, 1982, 11, 金沢.

8) 寺西秀豊, 青島恵子, 加藤輝隆, 窪田裕子, 加須屋 実：ナシ果樹園作業者の肺機能について. 第25回日本産業衛生学会北陸甲信越地方会, 1982, 11, 富山.

法 医 学

教 授 大 谷 勲
助 手 籠 谷 秀 翁
教 務 員 中 村 功

◆ 原 著

1) 大谷 勲, 籠谷秀翁, 中村 功：衝突創に車両塗膜等が検出された例について. 法医学の実際と研究 25：103-107, 1982.

2) 大谷 勲, 籠谷秀翁, 中村 功, 松田健史, 森沢佐歳：発達著明な胸骨筋の1例. 法医学の実際と研究 25：109-112, 1982.

◆ 総 説

1) 大谷 勲：ヒトヘモグロビンを指標とする人・獣血鑑別—その免疫学的証明法を中心として—. 岐阜大学医学部紀要 30：378-382, 1982.

◆ 学会報告

1) 大谷 勲, 中村 功：二酢酸フルオレセイン水解活性泳動像による人・獣血鑑別. 第66次日本法医学会総会, 1982, 5, 東京.

2) 籠谷秀翁, 中村 功, 大谷 勲：ネコ血清のヒト血球凝集性について (第4報). 第66次日本法医学会総会, 1982, 5, 東京.

3) 籠谷秀翁, 大谷 勲：高感度銀-金染色によるヒト唾液泳動像. 第66次日本法医学会総会, 1982, 5, 東京.

4) 大谷 勲, 籠谷秀翁, 中村 功：頭蓋骨に車両の塗膜痕を検出した剖検例. 第60回法医学談話会, 1982, 5, 遠刈田.

5) 中屋 博, 山田祐司, 大谷 勲：長期間放置された前房内鉄片異物の1例. 第20回北日本眼科学会, 1982, 7, 福島.

6) 中村 功, 大谷 勲：ウシ赤血球CAの多型性について. 第4回日本法医学会中部地方会, 1982, 10, 浜松.

7) 籠谷秀翁, 大谷 勲：熱イオン化検出器 (FTD) による医薬品の検出：第1報, ベンゾジアゼピン系製剤について. 第4回日本法医学会中部地方会, 1982, 10, 浜松.

8) 大谷 勲, 籠谷秀翁, 中村 功：洋傘の突端部による刺創例. 第4回日本法医学会中部地方会, 1982, 10, 浜松.

9) 大谷 勲, 籠谷秀翁, 中村 功：頭蓋骨に車両の塗膜痕を検出した剖検例. 第27回中部鑑明会総会, 1982, 10, 岐阜.

10) 大谷 勲, 籠谷秀翁, 中村 功: 発達著明な胸骨筋を認めた1剖検例. 第32回日本法医学会九州地方会, 1982, 10, 大分.

11) 籠谷秀翁, 大谷 勲: フレオンガスによる酸素欠乏死例. 第61回法医学談話会, 1982, 11, 山形.

12) 窪田叔子, 中屋 博, 大谷 勲, 籠谷秀翁, 中村 功, 飯田博行: 角膜の異常を伴った先天代謝障害の3例. 第3回北陸先天異常研究会学術集会, 1982, 11, 福井.

13) 窪田叔子, 大谷 勲, 籠谷秀翁, 木村通郎: Oxalosis にみられた角膜変性の1例. 第6回富山眼科集談会, 1982, 12, 富山.

6) Ito M., Suzuki H., Nakano N., Yamashita N., Sugimori M., Sugiyama E., Maruyama M., Asanuma Y. and Yano S.: Effect of nocardia rubra cell-wall skeleton on colony-stimulating activity and myeloid colony formation. *Gann* **73**: 403-407, 1982.

7) Kato H., Akagawa N., Yamashita N., Shiroishi H. and Yano S.: Enzyme immunoassay of glycyrrhetic acid and glycyrrhizin—Its clinical application. *Jap. J. Med.* **21**: 349, 1982.

8) Tsuge I., Kiyotaki C., Yamamura Y., Ito M., Tokuma Y. and Shimizu A.: A quantitative assay of phagocytosis using liposomes with trapped spin labels. *J. Reticuloendoth. Soc.* **31**: 405-413, 1982.

9) Izumi S., Tamaki S., Natori H. and Kira S.: Ultrasonically guided aspiration needle biopsy in disease of the chest. *Am. Rev. Resp. Dis.* **125**: 460-464, 1982.

◆ 総 説

1) 矢野三郎: グルココルチコイドとT細胞. 代謝 **19**: 198, 1982.

2) 矢野三郎: CRF の構造決定. 代謝 **19**: 1463, 1982.

3) 矢野三郎: レセプター異常総論. 代謝 **19**(臨時増刊): 742-743, 1982.

4) 矢野三郎: 下垂体性尿崩症. 代謝 **19**(臨時増刊): 718-719, 1982.

◆ その他

1) 書評「内分泌疾患の免疫遺伝学」(熊谷 朗・伊藤真次編集). 蛋白質・核酸・酵素 **27**: 86, 1982.

2) 矢野三郎: 電解質について. とやま県医報 (826): 10-12, 1982.

3) 矢野三郎: 臨床免疫機能検査法について. とやま県医報. (836): 18-19, 1982.

4) 矢野三郎: 血中酵素の異常. 高岡市医師会報 (73): 1-4, 1982.

5) 矢野三郎: 実地医家のための内分泌機能検査法. 高岡市医師会報 (74): 1-2, 1982.

6) 矢野三郎: 実地医家のための免疫機能検査. 高岡市医師会報 (75): 1-4, 1982.

◆ 学会報告

1) 加藤弘巳, 藤井 隆, 杉山英二, 赤川直次, 山下直宏, 城石平一, 伊藤正己, 矢野三郎: 肺結核症に伴ったマクロアミラーゼ血症の1例. 第114回日本内科学会北陸地方会, 1982, 2, 金沢.

内 科 学 (1)

教 授	矢 野 三 郎
助 教 授	伊 藤 正 己
講 師	中 尾 皖 英
講 師	加 藤 弘 巳
助 手	赤 川 直 次
助 手	泉 三 郎
助 手	鈴 木 英 彦
助 手	杉 森 正 克
助 手	山 下 直 宏

◆ 原 著

1) 浅沼克次, 藤井 隆, 城石平一, 杉山英二, 矢野三郎: 糖尿病に対するエラスチームの臨床使用経験. 臨牀と研究 **59**: 225-228, 1982.

2) 遠藤正臣, 矢野三郎, 杉森正克, 富山次郎, 渡辺 洸, 大西克美: 癌性疼痛患者における Eptazocine の依存性と薬剤耐性の観察. 薬理と治療 **10**: 335-348, 1982.

3) 熊谷 朗, 笠貫順二, 寺沢捷年, 土佐寛順, 山本昌成, 今田屋 章, 矢野三郎, 荻田善一: 生薬製剤“大蜂胃腸丸”の臨床効果の研究——二重盲検法によるシャクヤク((芍薬)効果の比較研究——. 薬理と治療 **10**: 363-371, 1982.

4) 泉 三郎, 玉城 繁, 名取 博, 城下葉子, 吉良枝郎: エコーガイド下の胸部吸引生検. 外科診療 **24**: 1219-1227, 1982.

5) Ito M., Sugiyama E., Akagawa N., Asanuma Y., Yano S., Yamamoto K., Kitagawa M., Naito T. and Maruyama S.: Immunological studies on an unusual case of primary pulmonary amyloidosis with hilar adenopathy. *Jap. J. Med.* **21**: 216-222, 1982.